

暮しのなかで

ウィルあいち交流ネット参加グループ

「Amelie」は「フランス映画の主人公の名前からです。
2010年に男女共同参画人材育成セミナーを共に歩んだ仲間たちと「Amelie'10」とグループ名を考えました。
私たちの研究レポートのテーマは「高齢化社会を生きる女性へ～ゆとりある介護ライフにするために」です。晩婚化によって変わる介護事情などを考えました。

現在、介護の現場で働いている私は、6年前に私たちが問題提起したことが現実になってきていることを肌で感じています。当時受講した講座の資料を今でも読み返すことがあり、有意義な時間だったと感謝しています。

女性の登用は各方面でわずかながらでも伸びています。とりわけ私のいる介護の現場は女性には活躍の場です。仕事の内容や待遇面で問題は多いですが、登用という面ではほかの職種より可能性が高い職種なのでやりがいを感じています。

アメリカでは女性の大統領が誕生するかもしれません。世界的レベルだとあたり前のことではありますが、ぜひ実現して世界のかじ取りをどのように行うのか見てみたいものです。

あたり前のことですが、それぞれの暮らしがあり、価値観も多様化しています。全員が同じ方向を向いて進むことは難しいことですが、今いる場所で、柔らかな心と知恵と強い信念をもって自分らしく進んでいければ、男女の垣根はなくなるように思っています。

Amelie'10 内藤晴美

- *さわらび会
- *メンズリブ名古屋
- *A・コール
- *女性学'98の会
- *IPA
- *メディアの会かつむり
- *ウィル10
- *A・B・C・Net
- *C・C・C
- *グループ・キートス
- *クラリネット'99
- *2000女性学の会
- *ウィル2000
- *I. W. L
- *ウィル・ミニ・ボックス
- *ウィルD○2002
- *平成いちご会
- *きらら2005
- *サーティネット '05
- *ベリーズ18
- *Step07
- *トライアングル '08
- *まちづくりファシリテーター勉強会
- *Fem.'09
- *Amelie' 10
- *なでしこAICHI
- *きりり24
- *AIC25
- *ウィルウィル14

ウィルあいち交流ネットとは…

ウィルあいちセミナー等の受講修了生による自主活動グループで組織された団体です。



女性の経済的エンパワメント・各国の取組（1） 東京

ブラジル・リオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピック競技大会の開催が近づいてきました。出場が決まった選手の満面の笑顔や、緊張感で引き締まった表情が印象的です。各選手の活躍が期待されます。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020大会」といいます）も、開催に向けて準備が進んでいます。先日にはエンブレムが決まりました。全国各地で、参加選手の事前合宿の誘致や、地域産品の売り込みの活動等も熱心です。こうした地域経済の活性化の面が注目されていますが、人権や多様性（ダイバーシティ）の推進の面からの効果も期待されています。この連載も、同大会に関する物品やサービスの調達と、女性の経済的エンパワメントでスタートしたいと思います。

東京2020大会を持続可能な大会とするため、組織委員会は、「持続可能性に配慮した運営計画」¹を策定しました。大会運営や取引に関連する企業や団体はこの方針に沿うことが必要です。環境への配慮等とともに、オリンピック史上初めてすべての国・地域から女性の選手が参加できる大会となった2012年のロンドン大会以降、人権や多様性の推進に関する取組について企業等に説明を求める方針が毎回採用されています。

具体的には、物品やサービスの調達の際、サプライヤーやライセンサーは、（1）製造・流通過程において、【1】人種、国籍、宗教、性別、性的指向、障がいの有無等による差別やハラスメントが排除されていること、【2】強制労働や児童労働がなく、安全・衛生が確保されており、労働者の諸権利が法令に照らして確保されていること、また、（2）許認可・製造・流

通等の過程において、贈賄等の腐敗行為、ダンピングといった不公正な取引が無いこと、等を説明することが求められます。

これは「サプライチェーン・マネジメント」と呼ばれている取組です。ビジネスによって人権や環境に配慮した社会を実現しようという試みです。たとえば、ある世界的な衣料品メーカーでは、取引先の縫製工場で働いている女性の工員の健康を支援することで、安心・安全な労働環境を整えています。また、工場がある地域の女性にICTのスキルを研修し、その女性たちが身につけたスキルをいかして高賃金の労働へ従事することで自社製品の購買層を拡大しています。

グローバルな多国籍企業だけでなく、地域の中小企業まで広く関連します。ジェンダーの視点からは企業自らが女性の経営者や起業家の製品やサービスを購入してそのビジネスを支援したり、取引先に対して社員の採用者や管理職における男女のバランスの良さや、女性活躍推進に関する計画策定と進捗状況の公表を求めたり、取引相手の接待に性産業を利用しない方針を定めたりすること等が含まれます。東京2020大会をきっかけに、このような企業力も女性の経済力もアップするような取組がさらに盛んになるのではと、今からワクワクします。

大会のエンブレムはオリンピックとパラリンピックの調和が理解しやすくなっている素敵なデザインです。ここに、もう一つ加えれば、オリンピック憲章²が示すようなさまざまな多様性の尊重と調和が実現すると、より一層輝きが増すように思います。

内閣府男女共同参画局 共同参画より

立命館大学法学部・教授 大西 祥世

[編集後記]

9月の映画祭に向けて映画の選定など忙しい日々を送っています。

S. I

編集発行：ウィルあいち交流ネット

編集協力：（公財）あいち男女共同参画財団